



104

お元気ですか? 小田啓二でした!



今年も残り少なくなりました。みなさまのご協力により活動を行う事ができ、心から感謝いたします。ありがとうございました。うございました。

また9月には、長期に渡る柏支部のサポートにより、土浦支部が新設されました。始まったばかりの支部を温かく見守ってまいります。

不安な材料が山積みの社会となり、今こそGAの出番だと感じています。人々に安心感を与えていかななくてはなりません。そのためにも、活動をより高度にしていきたいと思います。パトロールでは、前後左右、背後の様子に加えて頭上にも気を使う時代なので、今まで以上に目を配り、耳を澄まし全身で人や街を感じ取っていただきたいと思えます。

現在、全米でテロ対策のキャンペーンが続けられており、キャッチコピーの「If You See Something, Say Something!」と書かれたポスターなどが、駅など大勢の人が行き交う場所では、必ず目に留まります。これは「何かを見たら、人に伝えよう」という意味です。まだ日本においてテロの脅威は深刻な状況ではありませんが、油断せずに今後加速していくかもしれない動きに備えたいものです。私たちは、普段の活動において、毎回違う街や人と出会って、多くのことが見えています。この情報を埋もらせないで、社会に還元する事も使命の一つだと考えています。活動の成果を4つ挙げるならば、

1つ目は、非行や犯罪を抑止できる事、2つ目は、人々に安全や安心への関心を高めてもらえる事、3つ目は、安心を体感できる事、4つ目は、活動を通し、地域や仲間の人ひとりのスキルアップが、直接に地域の発展と安定に繋がると確信しています。

エンジェル・オブ・ザ・イヤー Mary(草加支部長)

今年の「エンジェル・オブ・ザ・イヤー(最優秀個人賞)」を受賞された、草加支部長のマリーにお話を伺いました。

来年、支部設立5年を目前に控え、マリーは2代目支部長として定例パトロールや、イベントサポート、安全セミナーなどで活躍しています。

GAで活動を始める契機は、市で開催したGAの講演でした。その後、市の呼びかけがあり2008年に、ニューヨークでGAが活動を始めた時と同じ、13名で草加支部がスタートいたしました。



草加市安全安心アカデミー

発足以来、月5回の定例パトロールを継続しております。当時から最初の一年は駅前のごみが多

く目立ちました。GAが活動を始めて、1年後にはほとんどごみが減ったこと。また、駅前でのパトロールをしている時、繁華街を歩く1人の女性に「GAがパトロールをしてくれていたので、安心して街を歩く事ができる」と言われた事が、とても嬉しい経験として印象に残っています。

パトロール以外にも、他のメンバーと共に首都圏及び宮城県まで足を運び、子ども達に防犯と命の大切さを教えております。目標は、草加市内全ての学校で安全セミナーを行う事と、講師の育成を目指して活動をしていきたいそうです。

草加支部はとてもアットホームで、活動の原動力もそこにあると語っております。副支部長の和尙や、事務局長コンサのサポートなどが、メンバーの連帯感を強めています。「個人の力は小さいけれど、GAを通じ団結し社会に役立つ事が出来て嬉しい。今後も草加支部を始めGA



全体として活動を継続して行くために、自分たちの替わりになる人材を大切に育てていきました。

い。また支部間交流も、後継者づくりにつながるので活発に行いたい」と語ってくれました。エンジェル・オブ・ザ・イヤーを受賞し「自分1人の受賞では決

してなかった。支部を代表して頂いた気持ちで、感謝をしているのと同じ時に、とても重たい賞だと感じた」マリーの更なる活躍に期待いたします。

茨城県初の支部設立! 土浦支部

今年の10月14日(日)、茨城県土浦市県南生涯学習センターにて、茨城県初の支部、土浦支部が設立されました。

支部長は、1996年よりGAの活動を長年支援し続けてくれた、ペガサスが就任いたしました。

活動の契機は、2008年に土浦市荒川沖駅付近での連続無差別殺傷事件でした。2名が死亡し7名が重傷を負った事件です。事件後ペガサスは、土浦支部の設立を希望、サポーターとして登録をしながら、後に柏支部と共に経験を積みました。その後、4年が経ちいよいよ土浦近辺に住む7名のメンバーで活動を始めます。主な活動地域は、JR土浦駅から西口に位置する繁華街・桜町です。

土浦市では現在、バイクによる窃盗事件や、振り込め詐欺の事件が頻繁にあり、市民に不安を与えております。そんな状況の中、ペガサスは、「今後、土浦支部のメンバーを15名まで増やし、拠点を設けて市内の防犯活動を活発にさせて行き、安心な街にした」と語ってくれました。





104

第33号 2012年12月6日



草加ふささら祭り
(タロー) 正面中央

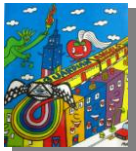
THE 長老
草加支部・Taro

現在、GAJの中で、最年長として活躍しているのが、草加支部のタローです。今回は、元気に活動をするタローにインタビューをしました。

タローは昭和8年生まれ、来年1月に80歳を迎えられます。活動を始めたのは、草加支部を設立する前に参加をしていた、町内会の活動を通してでした。お孫さんの小学校入学を機に、登下校時の見守りを始め、町内会からの勧めで公民館にてGAの講義を聴いたのがきっかけでした。その後、草加支部を設立するにあたり、タローも支部設立メンバー13名の1人として、草加市の安全な街づくりに貢献しております。

現在は主に、市内で開催される講演やセミナー、イベントサポートにて活動を続けています。草加支部は、40歳以上も年が離れたメンバーもおり、タローは「GA全体として幅広い世代が活躍しており、小田理事長を始め多くのメンバーや、ジュニア・メンバーから若いパワーを吸収する事ができ大変嬉しい」と仰っております。

NYC本部 GA アート・ギャラリー・コレクション



m&m
GA チョコレート



Jr.Angels 道着

こぼれ話・・・手作りのベレー帽

3年越しで支部の設立を熱望していた外国の街に出かけた10年ほど前の出来ごとです。インターネットで米国GAを調べながら、活動を始めていたと聞いていました。指示された集合場所に行き、集まったメンバーが、その国の言語で「ガーディアン・エンジェルズ」とプリントされた白いTシャツを着て、数人を除き手作りの赤いベレーを着用していたことに驚きました。赤い木綿の布の周りにゴムを通し、まるで赤い色のシャワーキャップのようです。見たとたんにかっこ悪いなと思いました。輝く善良な眼差しに、短い距離のパトロールではありませんが気づくと、自分は先頭を歩いていました。後に続くメンバーに、誇り高い気持ちになりました。ベレー帽も買えないほど貧しい地域では、危険が多かったのです。活動への情熱は、姿や形ではないと感じたひと時でした。スグにTシャツと真っ赤なフェルトのベレーを送ったのは言うまでもありません。(DUKE)



2012年9月9日、創設者カーティス・スリワの父、チエスター・スリワが亡くなりました。(享年91歳) パパ・エンジェルと呼ばれ、多くのメンバーから慕われ、尊敬を集めていました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。スリワが亡くなりました。(享年91歳) パパ・エンジェルと呼ばれ、多くのメンバーから慕われ、尊敬を集めていました。

Topics～話題の出来ごと

- ① 25番目の支部・土浦支部設立(支部長・ペガサス)
- ② 北九州支部新拠点(ホワイト・キャッスル)開設
- ③ 石巻市・南三陸町にて子ども安全セミナー開催
- ④ 渋谷区制80周年記念表彰(渋谷支部)
- ⑤ 福岡警固神社仮設防犯テント
- ⑥ 神奈川県安全セミナー講師養成講座(全8回)
- ⑦ 桐蔭横浜大学 学生のボランティアインターン活動(サービス・ラーニング) 受入れ

ご寄附のお願い

ご協力の程よろしくお願ひいたします。



ゆうちょ銀行振替口座 00130-9-549237

または

三菱東京UFJ銀行 赤坂支店 普通預金 5190124

口座名義 特定非営利活動法人

日本ガーディアン・エンジェルズ

日本ガーディアン・エンジェルズは、国税庁から認定NPO法人(国税庁課法11-78)として認定されています。寄附金は、寄附金控除等の対象になります。

本部事務局だより

今年度は、本部事務局を支えてくれていた、頼もしい女性2名が退職をされました。これで、男ばかり3人となってしまいました。女性らしい気遣い、心配りのようなものに欠ける事がないか、自分たちでは気付かなくとも、外からみた印象が変わっていないか、気になるところです。事務局へのご意見などがあれば、参考にさせていただきます。今後も、「か弱い」男3人で頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

集え！！

メンバー募集
ガーディアン・エンジェルズの一員として、活動に参加されたい方を募集しております。詳しくは、団体ホームページもしくは本部事務局までお問い合わせください。